

授業科目	運動学実習				
担当者	島 雅人 (実務経験者)・津村宜秀 (実務経験者)				(オムニバス)
実務経験者の概要	島雅人：理学療法士として、病院や介護老人保健施設等にて実務経験あり。 津村宜秀：理学療法士として、病院等にて実務経験あり。				
学科名	理学療法学専攻	学 年	2年	総単位数	1単位
		開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

運動学総論、運動学各論により修得した基礎知識・技術を踏まえ、実際に行われている動作を観察し分析するといった実習を行うことで、理学療法の基礎となる人体の運動のしくみについて理解を深める。島 (実務経験者)、津村 (実務経験者)

■ 到達目標

基本動作・歩行を観察する視点を身につけること
 観察した動作を運動学的用語で説明することができるようになること
 観察した動作を運動学・運動力学的に分析することができるようになること

■ 授業計画

- 第1回 コース・ガイダンス：講義の進め方、評定方法、その他
 基礎実習① 姿勢の観察とランドマークの触知
 島 (実務経験者)
- 第2回 基礎実習② 姿勢の観察とランドマークの触知
 島 (実務経験者)
- 第3回 基礎実習③ 筋力・筋持久力の測定と結果の解釈 (徒手筋力計、等速度運動測定器などを用いて)
 島 (実務経験者)
- 第4回 基礎実習④ 重心の求め方 重心の移動と姿勢制御 (重心動揺の計測と結果の解釈)
 島 (実務経験者)
- 第5回 動作観察と分析① スクワット動作の分析 (関節運動、筋活動、条件による違い) 島 (実務経験者)
- 第6回 動作観察と分析② 立ち上がり動作の観察と分析 : 津村 (実務経験者)
- 第7回 動作観察と分析② 立ち上がり動作の観察と分析 : 津村 (実務経験者)
- 第8回 動作観察と分析② 立ち上がり動作の観察と分析 : 津村・島 (実務経験者)
- 第9回 動作観察と分析③ 歩行動作の観察と分析: 津村 (実務経験者)
- 第10回 動作観察と分析③ 歩行動作の観察と分析: 津村 (実務経験者)
- 第11回 動作観察と分析③ 歩行動作の観察と分析: 津村 (実務経験者)・島 (実務経験者)
- 第12回 動作観察と分析④ 寝返り、起き上がりの観察と分析、総まとめ : 島 (実務経験者)・津村 (実務経験者)

■ 評価方法

【筆記試験70%、発表・提出課題30%】 試験時に不正な行為があったと認められた者については、規定に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格 (留年) とする。

■ 授業時間外の学習 (予習・復習等) について

各回で実施する内容に必要なと思われる運動学の知識をしっかりと確認、補充し授業に臨んでください。
 各回に該当する内容について、授業前に教科書で確認し授業に臨んでください。
 実施した内容について理解が不十分であった場合は、次の授業までに質問に来て理解を深めてください。
 課題レポートは提出期限に間に合うよう、計画的にすすめてください。
 観察・分析内容を相手へ伝える機会を設定します。指定された時間内に、分析した内容を伝えられるよう、事前練習を行ってください。

■ 教科書

書名：15レクチャーシリーズ 理学療法・作業療法テキスト 運動学実習
著者名：石川 朗、種村留美、小島 悟、小林麻衣
出版社：中山書店

■ 参考図書

書名：PT・OTのための運動学テキスト：基礎・実習・臨床
著者名：小柳 磨毅 ほか
出版社：金原出版

書名：基礎運動学
著者名：中村隆一、斎藤宏
出版社：医歯薬出版株式会社

■ 留意事項

各課題に対しては、各自がしっかりと理解し、説明できるように取り組んでください。

提出物は、提出期限を必ず守ること。

■ 講義受講にあたって

実技の内容を含む為、指定された日は学校指定のジャージを着用すること。
PCでプレゼンテーション資料を作成するため、各自PCを用意しておくこと。